

最低限の備蓄

わたしたちの住む静岡県も大きな地震が来ると言われており地震に関しては特に他人事ではないように感じます。首都直下型地震や南海トラフ地震などが起こると言われていますがいずれも甚大な被害が出ると予測されています。日ごろから災害に対して備えておけば大事なものを少しでも多く守ることができるのでいま一度、防災グッズや非常食を見直してみましょう！

【家族4人の場合】

非常食はライフライン復旧にかかる約72時間に合わせて最低でも3日～1週間分は用意するといわれています。家族4人の場合は1週間分だと84食になりますが、これを非常食として用意しておくのは消費期限等の管理も大変です。そんな時は無理なく備えることができる、日常備蓄（ローリングストック）がおすすめです。この方法では非常食を日常生活でも消費しながら、なくなったら買い足すことで、賞味期限切れを防止することができます。

飲料水は、1人1日3Lが必要になります。2L、6本入りのお水1ケースが1日分だと考えると覚えやすいです。しかし、これを一週間分で7ケース用意しておくとなると、置き場所に困ったり、買いに行くのが大変になってしまいます。そういった場合は、ウォーターサーバーを設置して水を配達してもらい、日ごろから使用する方法もあります。他にも、アルミ毛布や簡易トイレ、生活用水を汲むポリタンク等があると非常に便利です。ガスコンロとガスボンベもセットで用意しておく、調理にも役立ちます！

最近では100円ショップなどでも防災グッズを扱っているので気軽に用意し始めることができますね。



▶ RCウメハラの動画紹介
会社・商品紹介、えこきーぱーと守護神の
解説動画、空調機のカビ対策動画を
アップしました。ぜひご視聴ください！！



うめの樹のおすすめの和菓子屋さん

うめの樹の独断と偏見で選んだコアなお店!!

SHIZUOKA

静岡県静岡市

【おはぎ〜華子】

住所：静岡県静岡市葵区鷹匠1-2-11

TEL：090-6077-0875

営業時間：10時半～17時



琥珀糖やお花の形の
クッキーなども！

お花の形がきれいなおはぎ屋さんの「華子」です！
とっても華やかなので、お祝いなどプレゼントに渡したく
なっちゃいますね！鮮やかな色ですが天然着色料で体にも
優しいのが嬉しいです！お土産やプレゼントの場合は予約
しておくと安心です。

@hana.k.o.1010



うめの樹

No.17

有限会社アール・ツーウメハラ
静岡市駿河区小庵1394-1
TEL：054-203-6477
FAX：054-284-8120
編集・発行 2024.3.25

明けましておめでとうございます…が、おめでたくない事が元旦早々発生し正直書くタイミングが難しくなってしまうご挨拶が遅れてしまった事に対しお詫びを申し上げます。そして被害に遭われた皆様方におかれましては謹んでお見舞い申し上げます。弊社的には北陸方面にもお客様が多く、えこきーぱー・守護神&カピ守護神ともに4～5軒のお得意様がおりますが皆様、直接的な被害は小さく治まりそうな感じです。曖昧な書き方をしているのは、災害というのは直接的に受ける家屋の倒壊や津波被害だけでなく東日本大震災や阪神大震災でもありましたが翌年辺りから会社の倒産や自殺者の増加など2年、3年に渡って数々の問題が出てくることが多いからです。事実、東日本大震災の時も翌年の全国での自殺者は過去最高になったと記憶しており被災して亡くなった数よりも翌年の自殺者は大幅に上回っておりました。2月の末の時点で私は4回北陸方面に向っていますが、炊き出しをしたりお話を伺う中で私なりにおぼろげながら全体像が見えてきたような気がします。今回はそのご報告と今後に対し書いてみました。弊社のお客様は金沢～富山県高岡市など内陸部に多いので直接的な被害（もちろん細かい被害は多々あります）よりも社員や親戚の実家が…や客先が…的な話が多いようです。事実、氷見～七尾市のエンドユーザー様、和倉温泉の某ホテル様など過去にも何度か出向いており弊社製品を継続または施工・取付けに向ってはおります。

【1回目】1月7、8日に北陸へ。事前の情報は得ていたが現地の皆様達も通信手段が滞っていたり、停電や断水、修繕など身の回りの事に追われ能登半島の事までまだ分かっていない様子。とりあえずは客先周りをし、無事を確認しお見舞いと現状の確認をする。既にこの頃は報道各社や行政も能登には入らないでくれ！と連呼していたが、ある程度土地勘がある私としてはお客様の無事の確認と何処まで行けて今は何ができるのかを自分の目で確かめたかったのが本音です。何故ならそこに困っている人はたくさんいる訳ですから。事実、7日は内陸部のお客様、金沢東ライオンズクラブのメンバー等々を訪ねお話を伺い現地には難しいのかな…とは半分思いながら金沢駅横のホテルに入りましたが、ビジネスホテル等は満室でそこは行政や各企業の支援部隊などでごった返しておりました。

「ん、報道では観光客はすべてキャンセルで大変な事に…とは何か違うぞ!？」とかも思いましたが、そこは観光地金沢または北陸各地の観光客目当ての温泉旅館や景勝地ではガラガラの様で、比較的安価なビジネスホテルなどは満室で…という様な現象だったと思われまます。8日早朝に散歩がてら金沢駅に向かうと各ダイヤの乱れについてのテロップ等があり、新高岡駅でレンタカーを何とか調達した私としては車だと渋滞や事故などに巻き込まれる危険性も高いので、電車で行けるところまでに望みをつないでいたが電車等も殆ど不通の状況で半分諦めかけたのですが、金沢駅から9駅進んだ高松駅まで行ってみようと判断し車は乗り捨てて行ってみました。（次ページへ）



現地へ着くと同じような事を考えていた人も結構いて身内を気遣っている人や報道関係と思しき人達などがいましたがタクシーがいたので素早くゲット、お爺ちゃん運転手と仲良くなりとりあえず〇万円で行ける場所までお願いをしました。最終目的地とすればお客様である和倉温泉の某ホテルだったのでそこまで往復したら？と尋ねたら「6万以上は…」と言われたのですがいろいろ話をしていたら値切った訳ではないのですが「お客もばったりないしこの金額稼ぐには1日じゃとてもねえ…」って話になって快く引き受けてくださいました。運転手さんは現地の様子や道路状況も心得ているので渋滞や事故の心配もなく無事支配人さんともお会いしご挨拶もできたのですが、この辺りの判断は難しいところではあります。ただこのタイミングでは救助活動が最優先されている最中、次週からは当ライオンズクラブとして街頭募金を大々的に始めるという事で報道とは違う現地の生の声や現状などを少なからず得る事ができた…と考えれば踏み込んでみて善かったのではと考えています。そしてその後の二回の街頭募金活動は多大なご支援を皆様いただき過去にないような金額を全額現地ライオンズクラブで運営する支援口座にお届けをする事ができたのは先行して炊出しに行ったメンバーの行動力や現地で得た情報等々によってより活性化したのでと考えると。

【2回目】1月14、21日と静岡駅前地下にて街頭募金をし過去最高の支援をあずかり27、28日静岡ライオンズクラブ（以下LC）、他クラブのメンバーや居酒屋店主も含め11名と共に能登町へ。もう既にその前の週に当クラブのメンバーや後輩達も炊出し支援に穴水町に向かっており、現地の状況は聞いているし前回伺った日本LCのアラート委員会委員長や能登LCの方からも要請や情報は載っていたので渋滞や事故や事件に巻き込まれる事なく『静岡おでん大作戦』と称しその他要望のあったフルーツ等も積み込んで行って参りました。既に青森や福島、岡山などからも仲間が駆けつけており、もっと言えば静岡のボラ協の方達は1月4日には現地入りして救助支援活動を始めていました。要は慣れている人達にとっては行政や消防、各救助活動隊、自衛隊の方々と同じように行く事は当たり前だし、あれだけの災害なので行って役に立つ準備、自信と行動力があるからこそ出来るわけですが素人とのギャップはどうしても会って渋滞や事故や事件が勃発するのでは…と思います。実際、独りであとからマイカーで合流したメンバーは各所で職務質問に遭い怪しまれたようでこんな状況にも拘わらず悪い事をする人や組織はある様で東日本の時もみましたが、車の給油口を空けられた車が多数走っていたり、反社的な人達が多数乗り込んでいたり、急ぎの修繕や工事をボッタくる悪質業者など沢山の悪人も湧いて出てきます。なので疑心暗鬼になり近くの中の良い人達だけと朝から晩まで同じ話を何度も何度も繰り返して鬱状態に…。男衆からすれば「ミカンを食べながらでもそんな御祖母ちゃん達の話を聞いてやってくれるだけでも良いので…」なんて話しても伺いました。大人気だった静岡おでん1000食は大行列をなして怒涛の如く無くなりました。現地の方々との触れ合いがもう少しあっても…とも思いましたが簡単な事でもできる事は沢山あるんじゃないかと痛感しました。

【3回目】2月8、9日高岡市、金沢市へ。これは仕事が殆どではあったのですが、現地のお客様が能登半島へ守護神を…との相談もあり打合せ、市民生活中でどんな影響が出ているか等のお話は聞くことができました。能登半島は孤立化が進んでおり災害復旧が進んだとしても過疎化は免れない、より一層の過疎地になってしまうのでは…みたいな話もありました。静岡県で言えば伊豆半島と同じようなエリアであり過去に伊豆半島沖で発生した群発地震で半島にある観光産業他全てにおいて大ダメージを受けたと記憶していますが、そんな状況になっていると推測するし、（次ページへ）



この厳しい寒さも併せて考えれば永住するのは難しいと判断する人が増えても致し方ないというお話しも小耳に挟んだりもしました。先の事は分かりませんが、とにかく今は断水やガス、電気の供給をストップされて困っている方々や家屋の倒壊などで避難している方々の食生活や心の支援が出来るかどうか、寄り添えるかどうかの問題なので、避難民の数が明らかに減少するまでは少なくとも続けるべきだとは思っています。

【4回目】2月22、23日 第二回静岡おでん大作戦穴水編を当クラブメンバー、後輩（実は彼の実家が穴水町の有名御鮎屋さん）、飲食店等の経営者の7人で行って参りました。静岡は割り合い暖かだったので東海北陸道のひるがの高原SAを過ぎた辺りからは猛烈な雪で危ない状況ではなかったけど、日本も広くて各地それぞれだな…と実感。幸い現地では雨も雪も殆どなくどうしようもない寒さではなかったですが、静岡おでんの鍋の前に居たから感じなかったのかもしれませんが。穴水町副町長や後輩メンバーのお父様（お寿司屋店主）も出迎えてくれご挨拶。こういった少しでも交流や現地の声を聴けることは、どのボランティアもそうだと思うけど次へのパワーになりきっかけにもなります。避難所の中に入ったり写真を撮るなどは衛生管理上やプライバシーの関係から難しい事が多くメディアに残すことは大変ですが、少なからずお話を聞けることは今後の地元での災害にも役立つのでうれしいです。なので出来れば伺った避難所の代表者や取り纏めの方々のミッションは短時間であってもやるべきかな…とは思っています。で、それを持ち帰って様々な人達に伝えていく事が大事です。来るな！来るな！はタイミングによっては決して間違えていないのですが目的や方法、手段をよく考えて行けば必ずお役に立てるはずですよ。



【今回までの総括】

目立つ動きをすると必ず反論や小言を言う人が出るのですが大体のその種の人には文句は言うけど金は出さない、労する事もしない人が多く、仕事でもそうですが出来ない言い訳より出来る手段を考えた方が自分達にとっても今度被災した時には必ず役に立つと思います。現地の方ではほぼ毎日休むことなく各地の団体からの支援や物資の取り纏め、炊出しの調整等お手伝いを無償でしている方がいますが現地の方から「あなたの動きが負担に感じる」と非難されたり、SNSで発信したら物資がその指定した女性用のモノがたくさん届いたことで物資を取りまとめている人から自分達が調整している事を主張して「あんなのところにモノはやらん！」とつまはじきにされ村八分にされてしまったなんて事も聞きました。詐欺や窃盗、ボランティアとのトラブルや強姦等々、耳を疑う様な犯罪も常識では考え難いですが発生します。そんなリスクも考えなければなりません、被害に遭っている、またはそこで一生懸命活動されている人の殆どは本当に暖かい善い人ばかりです。大それたことは出来ませんが少しでもお役に立てるのであればもう還暦を過ぎましたが、まだ60歳でもあるのでもう少し頑張ろうと思います。今後、静岡おでんをやるのか何をやるかはまだ未定です。でも穴水町の後輩の実家のお寿司屋さんが営業再開した時にはぜひ連れ立ってそのお店で美味しい御寿司をほおばりたいと思います。少しでものご協力・お手伝いしていただければ感謝ですし、ご自分達にとってもやるべきだと思います。



自分の防災備え値が分かるyahoo! 防災模試、地震や台風・豪雨編など災害によって分かれていますのでぜひ試してみてください！